

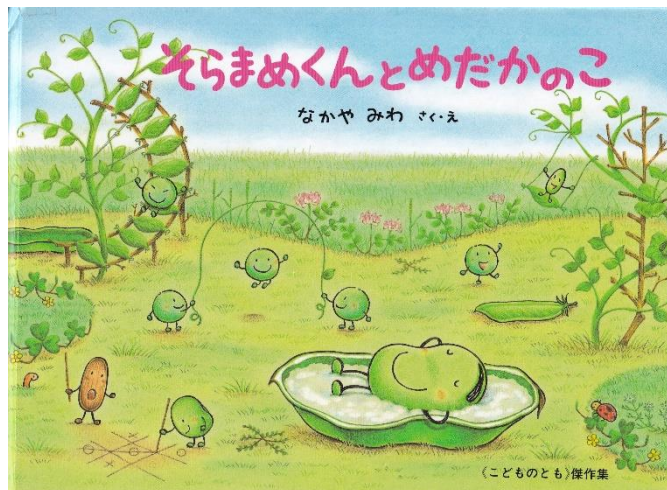
豊庄だより



第 757 号 2023 年 5 月 15 日

豊庄保育園では、毎週月曜日に朝の会を合同で行っています。その中で私は毎回お話をしています。話は今でないと話せない季節の話題を中心にしていきます。先週は、「豆」の話をしました。今年の 5 月は例年より暖かいのか、お

福岡市早良区南庄 2-26-13
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長 西尾 達

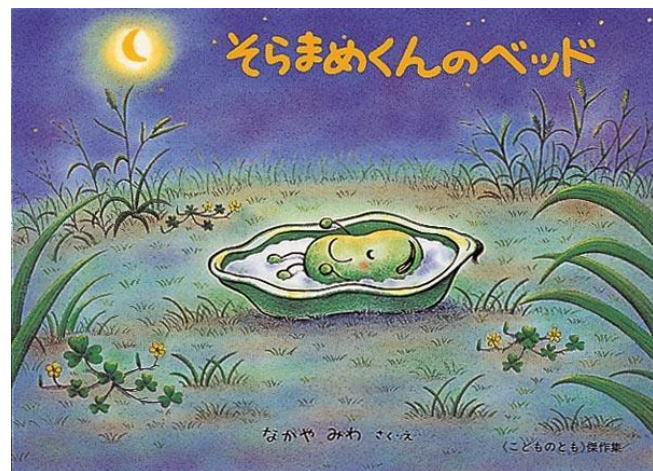


店に数種類の豆が並んでいます。旬の味です。その中から、いんげん豆・スナップエンドウ・ソラマメを購入しました。

3 つの豆のうち話の中心はソラマメです。ソラマメを真ん中から割ると皮の裏には白いフワフワがあります。これを取り上げた絵本があります。『そらまめとめだかのこ』(福音館書店)です。この本には、そらまめ・グリーンピース・ピーナッツ・さやえんどうが登場します。こんな話です。

きのうも今日も雨が続き、外で遊べないと嘆いていると、3 日目は青空になりました。「きょうはあそべるぞ」といつもの遊び場に行きますが、大きな水たまりになっていて、「ああこれじゃあそべない」とみんながっかりしていると、グリーンピース

くんが、じぶんたちをつつんでくれる皮をベッドにして、みずたまりにうかべ、遊びを始めました。しかし、フワフワのベッドを持つそらまめくんはベッドが濡れるのを嫌がり、みんなに「ぼくも のせて」とお願いしました。「じゃあちょっとだけだよ」と言って、ピーナッツくんがそらまめくんを乗せてこぎだしましたが、ピーナッツくんのベッドはひっくり返り、水の中に落ちてしまいました。なかなか浮かんでこず、みんなが心配していると、二人が水の中から顔を出し、「ぼくたち すごく きれいなものを見つけちゃった」と言いました。みんなで水の中に潜ると、そこには、ちいさなあわをつけたお花でいっぱいでした。「きれいだね」とうっとりして見ていると、メダカの赤ちゃんが小川から流されて迷子になっているのを見つけ、豆たちはメダカを救うために力を合わせました。メダカを救うのに使ったのは、そらまめくんのベッドでした。あれだけベッドが濡れるのを嫌がって



いたそらまめくん、自分のベッド以外は小さすぎて運べなかったのを知り、そらまめくんは、「ぼくのベッドをつかおう」と言いました。そして見事に助け出すことに成功しました。夕方から夜になり豆たちは、ベッドが水で濡れてしまったので、葉っぱの布団で寝ることにしました。～おしまい～※図書室にあります。

心温まる絵本です。「そらまめくん」の本はもう 1 冊あり、「そらまめくんのベッド」といいます。こちらもお薦めです。図書室にあります。

さて、朝の会の続きです。左の写真のように朝の会で話したことをもっと知ってほしいと思い、朝の会で使ったものをセットにして、展示しました。絵本以外は生ものなので、期間限定でしたが、親子で興味深く観察し、ふわふわベッドを触り、感触を味わう姿が見られました。

